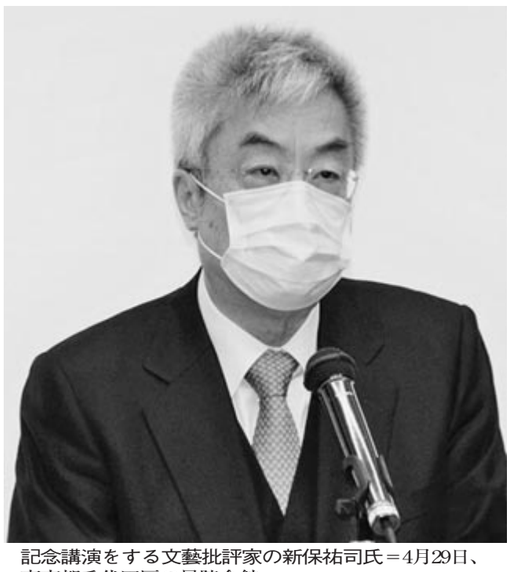

宗教新聞
発行所 宗教新聞社
東京都新宿区新宿5-13-2
〒160-0022
電話 03-3353-2940（代）
FAX 03-5363-5182
郵便振替口座 00130-9-22704
URL http://www.religion-news.net
© 宗教新聞社 2021
購読料（税込）
1部　500円
半年　3,000円（〒共）
年間　6,000円（〒共）

〈社是〉

一、精神革命の旗手
一、宗教連合の具現
一、地上天国の建設

偉大な明治から成熟した昭和へ

昭和の日をお祝いする集い

ネットで全国に中継

東京都千代田区

4月29日、東京都千代田区の星陵会館で「昭和の日をお祝いする集い」が同実行委員会主催で開催された。緊急事態宣言が出されているため一般参加を取りやめ、役員ら約70人が集まり、インターネットで全国に中継された。

奉祝式典では、国歌斉唱、宣言朗読の後に大原康男・実行委員会代表が主催者として「半世紀以上の御在位を通じ国及び国民の統合の象徴として尽力された昭和天皇の御足跡を偲びつつ、祖国日本のさらなる平安と隆昌を願う日をお祝い申し上げる」と挨拶。

来賓挨拶では、自民党組織運動本部団体総局長の谷公一衆議院議員が「安全、安心で記憶に残り、希望の灯となる東京オリンピック・パラリンピックの実現に取り組み、ポストコロナの未来を切り開き、昭和の日を受け継いでいく」と、明治の日を実現する議員連盟の山田宏参議院議員は「20世紀は共産主義との闘い、人種平等への闘いという世界史的な意義があった。自民党では65名の明治の日実現議連を立ち上げ、各党で素地づくりをしていく。昭和の日をお祝いしながら明治の日へとつなげていきたい」と祝辞を述べた。

記念講演をする文藝批評家の新保祐司氏＝4月29日、東京都千代田区の星陵会館

記念講演では、昭和天皇の侍従長だった中村賢二郎・杉野学園理事長と、元宮内庁書陵部編修課長で昭和天皇記念館副館長の梶田明宏氏のインタビュー映像が流され、昭和天皇の人柄と御聖徳を紹介した。続いて、文藝批評家の新保祐司氏が「明治七十年代としての昭和十年代」と題し次のように講演した。

北原白秋作詞、信時潔作曲の交声曲「海道東征」は何度聞いても感動し、特に「雄たけびぞ、弥栄を我等」の大合唱では思わず涙があふれてくる。昭和にこの曲があったのは奇跡としか言いようがない。北原白秋はこの叙事詩を書くことによって、近代日本最大の詩人に達した。ホメロスの「イリアス」のように詩は本来叙事詩で、民族の歴史を謳い上げるのが詩人の最高の役割だ。叙事詩に遠かった白秋が叙事詩を書いたことに、人間の役割の不思議を感じる。神によって選ばれたのかもしれない。しかし、この曲は戦後レジームの中で長く封印されてきた。

その理由は「海ゆかば」を作曲した信時潔の作品だからで、私は産経新聞4月16日号の正論に「戦没者追悼式に『海ゆかば』を」と題し、「戦前に『君が代』以上に歌われ、第2の国歌とも言われた『海ゆかば』は普遍性を持つ音楽で、大伴家持の長歌の一節から成る日本の防人たちの永遠の鎮魂の曲だ。日本の『アメイジング・グレイス』とも言えるこの曲を国粋主義に偏らない曲と受け止められる成熟した時代になるべきだ」と書いた。

明治の精神は大正を経て昭和10年代に蘇った。美術では、黒田清輝の洋画導入に始まり、梅原龍三郎、安井曾太郎などの油絵に達し、日本人の「洋画」になった。文学では、中村光夫は著作『明治、大正、昭和』で、「昭和10年代は大変厳しい苦難の時代であるにも拘わらず、文学だけはいい作品が多い」と述べ、谷崎潤一郎の『細雪』、永井荷風の『濹東綺譚』、徳田秋声の『仮装人物』『縮図』などを挙げている。厳しい状況にも拘わらず精神は偉大なことをする時があり、今も苦難の中で、日本人の精神と文化が深まることを期待したい。

昭和10年代に文化が成熟したのは明治が偉大だったからで、日本の暦には「昭和の日」に加え「明治の日」が必要だ。「明治節」が「文化の日」に変えられたのも戦後レジームの一環で、これを「明治の日」に戻すことで戦後レジームから脱却したい。

挨拶をする谷公一衆議院議員（左）と山田宏参議院議員＝4月29日、東京都千代田区の星陵会館

社説

サムシング・グレート

「サムシング・グレート」を提唱した村上和雄筑波大学名誉教授が4月13日、85歳で逝去された。血圧の調節にかかわる酵素レニンの遺伝子の全解読に世界で初めて成功した村上教授は、『生命（こころ）の暗号』（サンマーク文庫）で、自身の研究から遺伝子工学の最先端、さらに死生観、人生観を語っている。

「ところがここに無意識の世界というものがある。これは自分でもはっきり意識できない世界ですが、この世界が魂とつながっているのではないか。魂は無意識とつながっていてそこからサムシング・グレートの世界へ通じている」

人間は自然と同じ

2012年11月、天理市で開かれた「宗教と環境」シンポジウムで、村上教授は次のように語っていた。

「生まれ育った天理の環境が私の人生と研究に大きな影響を与えたと思う。30年遺伝子の研究を続けて、心を変えたら遺伝子も変わるのではないか、笑いは悪いストレスを消すかもしれないと思い、吉本興業の協力で笑いと血糖値の研究を始めた。

糖尿病患者20人余に昼食後、大学の先生の講義と漫才を聞かせ、それぞれの血糖値を測ってみた。すると、前者では平均123だったのが、後者では77に落ちた。5年間、人を代えて実験しても同様の結果が出て、糖尿病の専門医も驚いた。笑いは遺伝子をオンにするので、どの民族の神話にも笑いがあり、人々は笑いと共に生きてきた。

すべての生き物は遺伝子でつながっていて、これは環境問題を考える上でも大切なことだ。人体は60兆個の細胞でできている。利己的だけではなく助け合う利他的な遺伝子を持っているから生きられるので、その遺伝子を発見したい。地球の元素からできている私たちの体は宇宙からの借り物で、私たちの命は宇宙年齢137億年を引き継いでいる。

そうした不思議な業を行う根源を『サムシング・グレート』と名付け、『命の元の親のようなもの』と説明している。それが今、私の中に働いているので、生きることができる。

ダライ・ラマ法王は『仏教は心の科学だ』と言っている。インドのダラムサラに1週間滞在し、法王と対話していた時に、ノーベル平和賞受賞の知らせがあった。法王は『21世紀は日本の世紀だ』と言っている。神道と仏教に基づく精神文化と科学・技術力、経済力を持っているからだ。奇跡的な命を授かったことに目覚めれば、日本は世界に貢献できる国になれる」

生物の基本単位は細胞で、細胞の働きは遺伝子によって決定され、遺伝子は同じ一つの原理で働いている。これは全ての生物が一つの細胞から始まったことを意味している。

前掲書で村上教授は、「私たちが草木を見て心安らぎ、犬猫に出合って親しみを感じるのは、あらゆる生物が起源を一つにする親戚兄弟だからかもしれません。科学者はこの発見を土台に生命の謎の研究に取り組み、いまようやくヒトの遺伝子暗号を解読するところまできました」と述べる。これは、最澄が唱え、日本仏教の基本にある生命観「山川草木悉有仏性」に通じている。

NHKこころの時代で4月から「瞑想でたどる仏教」が始まった。瞑想は仏教以前の古代インドからあった自己観察法で、自己と自己を取り巻く環境、自然の深い考察がインド哲学、仏教を生み、その思索が中国を経由して日本に伝わり、それぞれの風土や人によって変容しながら、今日の仏教を形成してきた。今のコロナ禍でそれがどう変わるだろうか。

パウロによる転換

西洋の自然観を大きく転換したのはパウロであろう。ギリシャ哲学の機械論的、目的論的自然観に、神からの恩恵という感情を注入した。それに人々は感動し、生きる力を与えられたのが、キリスト教の大きな力になったのではないか。自然から生まれた人間は、自然への深い問いをし続け、そこで得たつながりの実感が大きな力となる。

前掲シンポで講演した松長有慶・高野山真言宗管長（当時）は、弟子の環境倫理学者ロデリック・ナッシュの『自然の権利』（ちくま学芸文庫）に触れ、環境問題はキリスト教より天台宗か真言宗から論じれば十分の一で済むと語った。コロナも人と自然との関係の問題であり、宗教からの貢献が期待される所以である。

灯

「愛する者たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。」（ヨハネの手紙一4：7―10）

西方キリスト教の伝統的な暦では「復活節」を祝っている。イエス・キリストの復活を記念し、キリスト教の原点を見つめなおす。彼がかつて生き、今も新たな生命に生きて教えていることは何かを問うてみると「神を愛し、人を愛する」ことに尽きる。これを400年前のキリシタンは「（神を）御大切に敬い奉り、わが身のごとく隣人を思え」と教えた。社会的距離をとるよう迫られる中にあっても、神仏を大切に思い、人々の痛みに関心を寄せる心を忘れてはいけない。（Ｉ）

靖国神社で神職のみの春季例大祭

英霊に鎮魂と感謝の祈り

東京都千代田区

東京都千代田区の靖国神社（山口建史宮司）で令和3年春季例大祭が、4月21日の清祓から22日の例大祭までの2日間、斎行された。同社職員1名に新型コロナウイルス感染症の陽性反応が出たことから、全ての参列を取りやめ、正式参拝、遊就館の拝観も中止。神職だけで例大祭が執り行われ、英霊たちに捧げる鎮魂と感謝の祈りを捧げた。

春季例大祭に合わせ、菅義偉首相は21日、「内閣総理大臣　菅義偉」の名で「真榊」と呼ばれる供物を奉納した。その他、田村憲久厚生労働相、井上信治科学技術担当相もそれぞれ真榊を奉納。安倍晋三前首相は21日に参拝し、超党派の議員連盟「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」は22日の一斉参拝を見送り、代表して尾辻秀久会長（自民党、元参議院副議長）と水落敏栄事務局長（自民党、参議院議員）が参拝した。

参進する山口建史宮司＝4月22日、東京都千代田区の靖国神社

雲一つない快晴の4月22日午前10時、大太鼓が静寂な境内に鳴り響く。宮司・神職が参進し、本殿所定の座に着いた。国歌斉唱に続き本殿内陣の御扉が開かれ海山の幸が供せられた。

その後、宮司は神前に進み祝詞を奏上、英霊に感謝の誠を捧げた。「鎮魂頌」「靖国神社の歌」。次に宮司が玉串拝礼。宮司がみ扉を閉じ当日祭は滞りなく修められた。

春季例大祭の期間中に行われる予定だった、各流派家元による特別献華展、さくらそう展などの奉祝行事、能楽堂での各種奉納芸能は中止となった。

靖国神社は、明治2年6月29日、明治天皇の思し召しによって建てられた東京招魂社が始まりで、明治12年に「靖国神社」と改称されて今日に至っている。

御祭神として嘉永6年（1853）以降の明治維新、戊辰の役（戦争）、西南の役（戦争）、日清戦争、日露戦争、満洲事変、支那事変、第二次世界大戦など日本の国内外の事変・戦争、国事に殉じた戦没者が、身分や勲功、男女の別なく祀られ、その数は246万6千余柱にのぼる。

軍人のほか戦場で救護のために活躍した従軍看護婦や女学生、学徒動員中に軍需工場で亡くなった学徒など、軍属・文官・民間の人々も含まれ、また、当時日本人として戦い亡くなった台湾や朝鮮半島出身者、シベリア抑留中に死亡した軍人・軍属、軍事裁判で犠牲になった人々も祀られている。

天地

4月10日からコシヒカリの田植え、5日間で約8ヘクタール植えた。天地子の昼間の仕事は農業。実働6～7人が28ヘクタールの田んぼで米と小麦、飼料用トウモロコシを作っている。米はコシヒカリにあきさかり、ひのひかり、酒米のさぬきよいまいの4種類、5月下旬から小麦を刈り、その後の田植えで6月に春の農繁期が終わる▼田植え直後に水を張った田んぼに除草剤をまき、2週間、深水を保つ。これで雑草の発生を抑える。土が水から出ていると除草剤が効かないので、毎朝、見回る。田んぼはどうしても高低差があるので、低いところは苗が水没している▼2週間後に水落とし。3日ほど乾かすと、なよっとしていた苗がしゃんとしてくるから不思議だ。深水は霜から苗を守る意味もあるが、保護しすぎると弱くなる▼その後の冠水を数回繰り返し、中干しする。これは苗の分けつを促すためで、イネ科作物には根に近い茎の関節から側枝が発生する性質がある。麦踏みも同じで、これにより3～4本の茎が20本ほどに増え、多くの種を実らせる▼倉庫には農協から配られた水管理の図が張られているのだが、人によってやり方は違う。一度も落水しない人も、それなりに収穫する。イネの方が人間に対応しているのだろう。もっとも収穫前には、コンバインが田んぼに入れるよう硬く乾かさないといけない▼そこに留まって生きる道を選んだ植物は、環境に柔軟に対応する力を持っている。イネとの付き合いが、天地子を育ててくれるように思う。

本紙定期購読のお申し込みは
■ご希望購読期間 ■氏名 ■郵便番号 ■住所 ■連絡先電話番号 ■メールアドレス（お持ちの場合）を明記の上、宗教新聞社宛、はがき、FAXまたはEメールで左記へお申し込みください。

宗教新聞社
〒一六〇―〇〇二二
東京都新宿区新宿５―13―2―4F
電　話03（3353）2940
FAX03（5363）5182
e-mail:religion@sage.ocn.ne.jp
http://www.religion-news.net
※購読料　年間6000円（税、郵送料を含む）

山喜房佛書林
神野富一著　A五判　五八〇頁　本体一六、〇〇〇円
補陀洛信仰の研究
チベット・アジア各地の補陀洛信仰とその伝播ルート等の集大成
福田亮成編　B六判　二九〇頁　本体五、八〇〇円
弘法大師聖句集成
本書は大師の言葉が読者の心に直接届くよう工夫され、掲示伝道や寺報の種子に最適。
〒113-0033 東京都文京区本郷5-28-5
TEL：03-3811-5361 FAX：03-3815-5554

たま出版
www.tamabook.com
魔のJR中央線
自殺霊の撮影で判明したこと
齋藤 齋霊 著
四六判158頁
定価1，365円（税込）
十年の歳月をかけ、ついに自殺者の霊の撮影に成功。霊能者が書いた自殺防止の書。死んでも痛みは残るもの、自殺者の言い分〝こんな筈では〟自殺をした状態で霊はさまよう、硫化水素自殺、政治家と自殺、自殺の多いJR中央線の謎を解く！
アシレス出版部発行
お近くの書店にない場合は下記へ 送料210円
〒229-0002 相模原市渕野辺本町2-17-14
TEL042（751）2558　FAX042（754）1818

人生の苦しみに積極的な意味はあるのか？
『21世紀に生きる日本人のための浄土思想』の出版を記念して、平成26年3月から28年11月までの5回にわたる講演をまとめた著者渾身の生命の書。
新刊！
私の生命（いのち）の復活
上橋 泉 著
四六判296頁（本体1500円＋税）
日本人の宗教性（霊性）は回復するか？
株式会社 如月出版 販売部
〒152-0023 東京都目黒区八雲2-24-15 ラ リュミエール1F
TEL 03-6657-9000　Fax 03-6657-8999
http://www.kisaragibook.com

自由社ブックレット2
理想の政教分離規定と憲法改正
四六判87頁／本体価格500円
杉原 誠四郎 著
憲法改正を見据えたとき、宗教に関する条項、規定は、真剣に考えねばならない問題である。
自由社
〒112-0005 東京都文京区水道2-6-3
Tel03-5981-9170 Fax03-5981-9171
http://www.jiyuusha.jp/

『先代旧事本紀』の神髄を極めた著者が足で調べた大和建国の謎。
（定価：本体2000円＋税）
日本国始め 饒速日大神の東遷
大野七三 著
須佐之男尊の出雲国創建後、饒速日尊が32従者と25軍団を従え、九州から大和に東遷して纒向の地に大和国を建国。その時、饒速日尊が配下を募り配置した今も残るその出自と足跡を立証する。
批評社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36 鳳明ビル102A
TEL 03-3813-6344　Fax 03-3813-8990

日本よ、蘇れ
日本神話の知恵
ゆがんだ歴史観、家庭の崩壊、教育の危機…。いま日本は大きな危機に瀕しています。この現状を打破するカギは、実は「日本神話＝古事記・神代」にあるのです。日本神話に満ちあふれる、愛と生命と知恵に立ち返ってこそ、日本の未来は拓けます。あなたも著者といっしょに、「神話の教え」をひもといてみませんか？
出雲井晶 著
●定価1000円（税込み）
●四六並製　232ページ
●発行・産経新聞社／発売・扶桑社
お問合せ先／扶桑社　販売企画部
〒105-8070　東京都港区海岸1-15-1
TEL03-5403-8859
購入申込み　FAX:03-3578-3075

日本宗教の闇
室生 忠 著
四六判・520頁　定価：本体2，000円＋税
拉致監禁による強制棄教との戦い
信教の自由が保障された今の日本で、強制棄教を目的に拉致監禁が行われている。職業的強制改宗屋が家族を巻き込み、信者を拉致し、部屋に監禁して、脅迫的説得により棄教を迫る。特に世界平和統一家庭連合（統一教会）やエホバの証人の信者に被害者が多く、中には12年以上の監禁された人もいる。驚くべき宗教迫害のリポート。
アートヴィレッジ
受注センター
〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町3-3-18・4F
TEL078（882）9305　FAX078（801）0006

縄文のパワーフィールドへ
神道よ！今こそ《古来の本物の道》に戻るのだ！
奈良泰秀
エハン・デラヴィ 著
本物のシャーマニズムを日本人が忘れている。神道の潜在力を思い出し、世界に伝えていこう。ケルト民族末裔の意識研究家が、神道のエッセンスを聞き出す。チャネラー、ヒーラー、コンタクティを超える、宇宙と直接つながる知恵は、ここ日本の神道にあり！
四六上製1785円（税込）
株式会社ヒカルランド
〒162-0821 東京都新宿区津久戸町 3-11
電話：03-6265-0852　FAX：03-6265-0853
http://www.hikaruland.co.jp